



2021年11月12日

各 位

会 社 名 株式会社テクノフレックス
代表者名 代表取締役社長 前島 岳
(コード番号：3449 東証第二部)
問合わせ先 取締役兼専務執行役員管理本部長 川上 展生
TEL. 03-5822-3211

千葉工場の拡張に関する検討開始のお知らせ

当社は、千葉工場の拡張計画について検討を開始いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 検討の理由

千葉工場は、1984年に千葉県船橋市に建設され、当社の主要なマーケットである都心部に近く、また、流通面で利便性の高い港にも近いという、優れた立地を活かして発展して参りました。この優れた立地を有効活用するため、隣地取得による工場の拡張を重ね、現在では、総面積約13,000㎡（約4,000坪）の敷地に、工場、大型倉庫、配送センターなどを有し、製造と物流の両面で、当社の中心的な役割を担っております。

しかしながら、千葉工場の主要施設は、建設から40年近く経過しており、老朽化対策が必要な時期を迎えております。また、成長市場への対応と、グループ間のシナジーを活かした将来の事業拡大を見据えた場合に、工場の更なる拡張と、自動化等の効率化が、必要となっております。

そのため、千葉工場の一部施設の建替えによる工場拡張計画について調査を行って参りましたが、この度、具体的な検討を開始することといたしました。

2. 計画の概要（現時点）

優れた立地を更に有効活用するため、老朽化の進む一部の平屋建ての工場棟および隣接する建物を解体した敷地に、地上6階建て延床面積約17,000㎡（約5,000坪）、従業員約100名規模の新工場を建設し、敷地を立体的に活用することで工場を拡張する計画です。

新工場には、継手製品の製造工場および流通センターに加え、グループ会社の株式会社TFエンジニアリング（以下、「TFエンジニアリング」と言います。）が担う配管のプレハブ加工工場や、株式会社スペースケア（以下、「スペースケア」と言います。）が担う介護用マットレスの洗浄施設等の増設も、検討して参ります。新工場が、当社のみならずグループ全体の中心的な事業拠点としての効果を発揮することを、目指して参ります。

製造工場	主力製品のフレキシブル継手や、成長事業である真空機器の製造を、強化いたします。ロボットを導入し、自動化による製造効率の向上を進めるとともに、新たな非溶接構造製品の開発を進めます。脱炭素に取り組み、持続可能な社会に相応しい工場を目指して参ります。
流通センター	近接する都心部への納期短縮に、効果を発揮いたします。流通面の効率化と、顧客満足度の向上につき、検討して参ります。
配管加工工場	工事現場で職人が行う配管の切断や穴あけ等の加工を、職人の代わりに自動でロボットが行うプレハブ加工の工場で、TF エンジニアリングの事業です。職人不足の進行による、需要拡大が見込まれます。
介護用マットレス洗浄施設	専用の施設でなければ難しい介護用マットレスの洗浄を工場で行う、スペースケアの事業です。介護需要の高まりに応じて、設備を増強いたします。
製品試験センター	消火設備の評価に必要な耐火試験等を行う、試験センターを設置いたします。
その他の事業	新工場は、他のグループ会社の事業においても活用を検討し、当社グループ全体の中心的事業拠点とする計画です。グループ各社の人材と技術の交流によって、グループ間のシナジーが生まれる場所にしたいと考えております。

3. 工事の概要

- (1) 所在地 : 千葉県船橋市潮見町 34-3、他
- (2) 総敷地面積 : 約 13,000 m² (約 4,000 坪) ※敷地内の一部の建物を建替え予定
- (3) 建物計画 (予定) : 鉄骨造、地上 6 階建て、延床面積約 17,000 m² (約 5,000 坪)
※既存建物を含む全体の総延床面積は約 27,000 m² (約 8,000 坪) を予定
- (4) 総投資額 (予定) : 未定 (計画により変動)
- (5) 資金 (予定) : 現金および借入金にて検討中
- (6) 工期 : 未定
- (7) 設計 : 株式会社 JFE 設計

4. 今後の見通し

本件による今期業績への影響につきましては、軽微であると考えております。
今後、検討を進めて参りますと共に、適時に適切な情報を開示して参ります。

以 上